

介護体験を 聞く会



ホームページ
http://www.yanagida-kaigo.co.jp/

第169回 介護体験を聞く会

デイケア通所施設を十年利用して高齢になり、新たな段階の介護体制を模索している事例が検討された。ショートステーションなどを導入することで本人も介護者も展望が見えてきた。

平成28年1月30日
(土) 午後2時開催

「議題」

- ① Fさん(11年前からデイケア利用、1年前から歩行が1人でできない91歳の女性)について
- ② 在宅介護家族相談会
- ③ グループホーム運営推進会議

参加者(職員)
院長、柳田、柏倉、露木、

工藤、漆原、厚川、古谷、
前田

(利用者家族)

藤田さん、柳澤さん、
吉川さん夫妻、野々目さん、
Fさん親子、

(その他) 多田さん

※検討の目的

移動にて時間がかかり、
座位での良姿勢が保持できなくなってきたりハビリやデイケアでの活動において日常生活動作の低下を防いでいく。

氏名・Fさん 女性
(91歳)

要介護度・要介護5

現在週2回デイケア利用、
週1回他デイサービス利用、
週2回各1時間昼夕ヘルパー利用、福祉用具利用。
昨春秋より月1回

会報第168号

平成28年2月15日発行

発行所…(有)明寿会

住所…川崎区中島1-13-3

電話044-233-0061

*定例会は最終土曜日です。

(今月は2月27日)です。



グループホーム旭町で
仲良く平行棒の風景

2泊3日ショートステイ
利用

利用開始日…H17年

3月)

出身地…東京都駒込

趣味…カラオケ

性格…温厚

主な介護者…息子さん

(会社員で朝7時頃出勤
夜8時〜11時帰宅)

*既往歴

- 10代…結核
- 40代…腰椎すべり症
- 50代…結腸潰瘍
- 80代…腰椎圧迫骨折、
逆流性食道炎

*内服薬(内科・整形外科)

- ① ルブラック錠 4mg
- ② エバデルS 9000
- パップフォル錠 10mg
- パリエット錠 10mg
- ワンアルファ錠 1.0mg
- g
- ハイペン200
- シングレア錠 10mg
- オステン200
- マグミット330
- セルシン錠 2mg
- フォサマック錠 35mg

*生い立ち

大正13年東京駒込に9人兄弟の8番目として生まれました。小学校、女学校を卒業し昭和16年から終戦まで丸の内の事務所として経理事務として勤務。昭和39年お見合い結婚され川崎に居住。昭和45年から7年間カドヤ食品に勤務。責任感が強く何があっても休まず仲間

からも会社からも信頼されてきた。

*デイケアでの様子
歩行…ピクアップ歩行器使用して移動をしている。腰椎の圧迫骨折の既往もあり円背である。下肢のむくみもある。歩行中、注意散漫で目的場所になかなか到達しない。歩行時後方への転倒リスクがあるので介護者が後方につき見守り歩行をしている。椅子での長時間の座位での良姿勢保持が困難になってきており右側に傾く事が多くなってきている。
食事…軟飯で提供。自力で摂取。
排泄…トイレまで見守り歩行。下着衣の上げ下げは自力で可能だが、時に介助が必要。
睡眠…夜間眠れないことが多いようでデイケアで椅子に座りながら寝ていることも多い。
午後のプログラム参加…得意のカラオケでは「岸壁の母」を熱唱。傾眠傾向の時は参加ができない。会話…以前は周りの人に気を遣ってよく声かけを



小学生と交流の様子

してくれていたが、最近
は物静かで自分から話し
かけることが少なくなっ
てきている。職員に「家
では1人の時間が多いの
で寂しいよ」とたびたび
話す。

体重・利用開始時49kg、
H26年逆流性食道炎で
43kg迄減少、現在47
kg

＊自宅での様子

通所サービスのない日は
1人で日中過ごしている。
テレビはつけているがほ
んど見ていない。デイ
の日の朝はほぼ毎回「1
人であるのが不安だから
早く迎えに来てほしい」と
電話がある。日中でも

時に「1人で不安でしょ
うがないの。どうすれば
いいの？」と電話あり。
夕方には息子さんに毎日
「何時に帰ってくるの？」
と電話が入るとのこと。

息子さんは優しく電話に
対応し、朝食と夕食は用
意をして出勤している。
デイのない日は昼・夕へ
ルパーさんが入り食事を
用意している。Fさんは
ベッドに端座位で腰掛け、
1人で食べている。夜間
は1〜2回トイレで目覚
める。午前3時頃には目
が覚め、朝が来るのを待っ
ている。毎週土曜日は息
子さんの付き添いで病院
に行き温熱療法と骨粗しよ
う症の注射をしてもらっ
ている。天気が良いと土
日は車いすで外出し楽し
んでいる。

＊家族からの希望

歩行が困難になっており、
ベッドから3歩ほどの位
置にあるポータブルトイレ
に間に合わない事も日
に2〜3回ある。リハビリ
リをしてもっと歩けるよ
うになってほしい。曜日
や日付はわからなくなっ
てきたが

＊今後の方針

デイケアを10年以上上利
用されている。年齢とと
もに筋力の低下が見られ
る。デイケアでは本人の
調子や痛みの訴えに配慮
しながらベッド上での筋
力トレーニングや平行棒
内での足上げや背伸びの
トレーニングを行っている。
家でもベッドの柵に
捕まり背伸びや座ったま
ま足上げをするよう声か
けてしている。最近腰や
臀部の痛みの訴えが減っ
ているので今後リハビリ
の運動量を上げていく。



グループホームで中学生の介護実習

＊検討会より
本人・ショートステイに

行くようになって知り合
いができ、「あなたと一
緒の日にショートステイ
にしたい」と言われた。
院長・人から選ばれてい
るのは光栄なことだ。

柳田ケアマネ・Fさんは
穏やかで人の悪口を決し
て言わない。人の良いと
ころをほめて下さるので、
デイでもショートでも思
っても貴重な存在だと思
う。

息子さん…介護生活になっ
て10年、昨年からショール
トステイを試みた。最初
はとても嫌がった。ケア
マネさんが変わってその
人の力が80%位、自分
の努力は20%と位だと
思っている。前のケアマ
ネさんは自宅に来ても
「この書類にはんこを押
して下さい」と言っ
て帰っていたが、新しい
ケアマネさんは「息子さ
んの事も考えるとショール
トステイは必ず利用して
いきましよう」と言っ
て本人を説得してくれた。
自分も最後まで在宅で
生きるか不安もあるので心
強かった。介護がこんな
に大変だとは思わなかつ
た。実際やってみて自分

が想像していた10倍く
らい大変だった。

吉川…うちのケアマネさ
んも2年間毎月来て、母
と話をしてくれ2年かけ
てデイに通えるようになっ
た。合うケアマネとそう
でないケアマネとが
いると思う。外に出ることが
嫌いな母がそのケアマネ
さんには心を開いて話を
する姿を見てとても良い
ケアマネさんと思
えて良かったと思う。

野々目…うちの姉もやっ
と昨年6月からショール
トステイに行くことができ
るようになった。最初は
1泊2日から今は3泊4
日にした。最初は大変だっ
たが、今は若いお兄さん
が迎えに来てくれるとこ
こにこしながら行ってく
れる。いくつになっても
若い異性は良いのだなと
思う。

藤田さん…昨春秋、要介
護は1の認定はついた。
今は出来るだけ外に一緒
に出かけるようにしてい
るが、最近1人で出かけ
てしまい何とか帰っては

来ているが今後は帰ってこれなくなるのではと感じている。記憶が長く保てなくなり怒ったことも忘れてしまう。諸先輩の話も聞いてみると、うちの母親は簡単にはデイには行ってくれないなど感じている。

*グループホーム旭町運営推進会議（高橋主任）

先月新しい利用者さんが入り満室になりました。職員の中に運転できる人が2名入職し、全員で東扇島公園に行ってきました。今後も全員での外出の機会を増やしていきます。

1月に毎年行っている外部評価を受けました。良かったところは、地域との交流はすばらしいですね。指摘されたことは、職員の言葉使いをあらためて行くといいですねとの指摘をうけました。正式な文書での回答がでたら皆様にお知らせします。

文責 居宅・柳田

「沖縄講演アンケート」

先月の1月23日、24日と当診療所院長が沖縄

に行き、認知症について講演をしてきました。いままでの川崎で行ってきた介護実践から学んだことを、まとめた内容を講演し、意見交換をしてきました。以下にそのときのアンケートを転載してあります。沖縄でも介護の問題は深刻で、参加者熱心に聞いておられました。なお最後には川崎から持参した「もしかめ体操」につかう毛糸を編んだりリアンを使って「なじみ」を成立させてから活動にはいる方法を実演しました。参加者は初日が50人、2日目は沖縄で雪が降る寒い状態のなか20人が参加しました。介護施設や民生委員の方々が中心でした。

「参加者のアンケート」

「参加者のアンケート」から
いづれ私たちが向かう道（高齢者として）に、今の世代が受けついでいくとき、どれだけ家族の中で、親子と（祖父母など）良い関係が出来てきたか・・・と思います。ただ面倒くらいはみてもらいたいか、いたわり

の心が育つ環境など、時間がかかる問題が多く、すぐには解決できる事なのか分からない。
（金城 沖縄市）

認知症はどんなしょうじょうかわかりました。伴侶とわかれてすぐに私は認知症を心配したが、認知症とちがう、伴侶につかえた疲れだといわれた。
親の老後を見ている方々に今日のお話しを聞かせてあげたい。
（垂井 沖縄市）

ていねいな説明でとてもわかりやすかったと思います。
（新屋 沖縄市）

手から入る感覚刺激＋歌を歌う＝楽しみながら認知症ケア。
認知症についてもっと学びたいと思います。
（田村 沖縄市）

定年退職や、子育てが一段落した後も、地域との交流や、健康のために、体を動かすこと、周りとのコミュニケーションなど、積極的に行う。

認知症を発症した時に、良き薬、家族の心がまえなどを知りたい。
（無記名）

キーワードは“なじみ”
“安心感” “楽しく”
“触れ合う” それらをもとに実践していきたいを
思います。
（島袋）

脳の活性化、集団生活、物造りの手足を生かす。
*家内に居るときは認知症はないが、外出すると認知の状態がでるのは何故か？
*夜間外出時に認知症の異常が起こるのはどうしてか？
（無記名）

医学的知識は別として、認知症の人に対する対応はけっして難しくないと、対応する側の心の準備をしておけば良い事がわかった。

ケアの内容、対応をもっと知りたい。
今後多くの人々に波及させるための取り組みについて。
（自治会長 沖縄市）

手を使い、脳の萎縮防止を助け、集団の中で楽しく過ごせるようにする。
認知症の人はなじみを作ることが大事。
認知症の人は言葉は理解できないので、直接的にスキンシップをとることが大事。
（島袋 沖縄市）

認知症とは、記憶の川が断絶するということがわかりました。
（高江洲 沖縄市）

手を使う（脳への刺激）、スキンシップの大事さ、なじみをつくと次の行動がスムーズに出来る様になる。
認知症に良い薬漢方薬。若年性アルツハイマーについてもっと知りたい。
（宮里 沖縄市）

手の労働、集団、栄養の重要性。
若者は安保健案で殺されるより、安保健案をつぶしてしまえに共感。
（石垣 沖縄市）



子供と交流して感激

「新年の抱負」

グループホーム平成28年の抱負
昨年は利用者さん2名の方が療養型、お1人の方が特養に移られ、新たに3名の方が入居されました。今までになかった事で、入れ替わりに職員一同戸惑う事もあり、周りの皆さんにも大変ご迷惑をおかけしましたが、ようやく落ち着きを取り戻せたかと思えます。年末より新しくハイエースを運転して下さるドライバースさんも入っていただき、今まで全員で出かける事

もなかなか出来ませんでした。行けるようになって、利用者さんからの声を一番に優先して計画を立てていきたいと思えます。昨年12月には寒かったです。東扇島までドライブに行き、久しぶりの遠出に皆さん喜び、1月は中島八幡へ初詣に行き、十分ご利益がありますようにと十五円のお賽銭を入れお参りしてきました。今月2月には川崎マリエンに行く予定で、月に1回は全員で出かける計画を立て、今年の目標として実行していきたいと思っています。今年も1年よろしくお願ひ致します。
グループホーム旭町 高橋

「新人紹介」

こんにちは。今回新人紹介の場を頂きました工藤亜希子と申します。前職は人工透析の看護助手をしておりました。介護に興味を持ったきっかけは、前職での体験からでした。もっと利用者の皆様の身

近な存在になりたいと思ひ、2015年10月から介護初任者研修を受け、11月下旬から柳田デイケアにお世話になっております。
デイケアで働くのは初めてで不安と緊張でいっぱいでしたが、先輩方が丁寧な介助の仕方や利用者様との接し方を教えて下さり、徐々に緊張が解けていきました。
最初の頃は、利用者の皆様とお話したいけど、お名前も分からない利用者の方に話しかけるのはとても勇気がいり、どうしようかと思つていたら「工藤さんです。色々教えてあげてくださいね」と先輩方が背中を押して下さったお陰により、笑顔でお話しすることができました。
特に記憶に残っているのは、まだ何もお役に立てない私に「あなたが居てくれてよかったですよ」と、お声を掛けてくれたことです。
柳田デイケアで頑張つていこうと決意した一つであります。実際に介護の職に就き、

大変だなと思う事もたくさんありますが、利用者様の笑顔や感謝の言葉に日々元気を貰っております。
また、利用者様との距離が近く、とてもやりがいのある仕事だと思っております。
皆様のお役に立てるよう日々精進して参りますので、改めまして宜しくお願いいたします。
2016年2月
デイケア室工藤 亜希子

「平成28年度の抱負」

柳田居宅介護支援事業所 柏倉 友子
日頃より、利用者やご家族の皆様、各事業所の皆様におかれましては大変お世話になっております。柳田居宅介護支援事業所は今年度「業務の効率化」を行い、ケアマネ業務を時間に追われることなく、漏れることなく、ミス等もなく行っていきたい。そして、より頼れる居宅事業所を目指して参りたいと思っております。

ケアマネ業務には、運営基準で定められた絶対的な項目があり、それらを見落とすと報酬が減算されると言うペナルティがあります。落ちがないように仕事をし、加えて、日々のサービスマネジメントが間違いないように行われたかをチェックしたり、国に請求書を出したり、連絡調整などでも常に時間に追われているような状況です。
今年度は、柳田全体もいよいよ業務の大改革を行ない、素晴らしいソフトを導入することになりました。ソフトを使いこなせるようになり、業務の効率化を図り、得手不得手にかかわらず、余裕をもって仕事をすることができ、ケアマネ自身にとりまして利用やご家族にとりましてもサービスマネジメントにより、よりよい介護の環境を整えることができると思っております。
初めのうちは何かとご迷惑をおかけすることがあるかと思いますが、頑張りますのでご支援の程宜しくお願い致します。